

〔平成26年度明専スクール〕

第4回明専スクールに参加して

情報工学部生命情報工学科4年 村上 絢夏



明専スクールについて

私は明専スクールについて全く知らないまま、友人の勧めにより参加しました。卒業研究で忙しい時期であったため、有意義なのか不安を持っていました。

しかし、今は参加して本当に良かったと思っています。社会人になる前に九州工大を卒業された先輩方のお話を聞かせていただくことにより、春から社会に出るに向け身が引き締まる思いでした。今回はその内容と所感について伝えたいと思います。

講義

講義は初めに徳丸先生によって就職に対する心構えや仕事の進め方についてお話いただきました。そしてその後、九州工大を卒業された方々の講義が行われました。

講義が行われた中で、私が最も印象に残っているのは「出張報告書の作成」です。出張報告書は今まで作成してきた学校の講義でのレポートや書類の中で最も苦戦した書類でした。社会に出ると、提出する書類は自分のために出すものではなく、今まで以上に相手に分かるように伝わりやすいように書くことが求められるのだと痛感しました。先輩方には丁寧な添削していただきとても貴重な体験となりました。

グループ討議

グループ討議では各グループにテーマが与えられグループのメン

バー6名に講師の先輩が1名加わりコメントをいただきながら、資料を作成しました。1日目に1度発表を行い訂正した後、2日目に最終発表をしました。

同じテーマであっても、人によって考え方の違いが生じ初対面の人と討論をするのは大変だと感じましたが反面、いろんな考えを知ることができ楽しくもありました。

懇談会

1次会は立食パーティーで、2次会は仙水荘で行われました。ご飯を食べながら、学校の先輩であると同時に人生の先輩である講師の方々に社会とはどのようなものか、技術者としてどうあるべきかなど、今後参考になる知識を和やかな雰囲気なか教えていただきました。近い将来働くにあたって、実際に長い間働いていらっしやる先輩方に気兼ねなく質問できる恵まれた機会であったなと感じております。

その後

今回の明専スクールにて、社会人になる前に、先輩方からの様々なた

めになる教えと激励、かけがえのない仲間との出会いなど非常に多くのものをいただきました。まだまだ、学生気分である私に、社会人として働くための準備をする機会を与えてくださり本当に感謝しています。また、後輩にもこの明専スクールの素晴らしいさを伝えていきたいと思っています。

最後になりましたが、この明専スクールを開催するにあたりまして、ご尽力いただいた明専会、大学関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

(株)カワニシホールディングス

(平成27年2月記)



仙水荘での2次会にて